

# 第74回全日本女子ホッケー選手権大会

## 第2日

開催日時 11月23日(土) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

コカ・コーラWRS、ソニーHCが2連勝で勝点6

### <A組>

コカ・コーラウエスト  
レッドスパークス

4  $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$  0

勝点6 2勝

グラクソ・スミスクライン  
Orange United

勝点3 1勝1敗

### <A組>

山梨学院大学

5  $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$  0

勝点3 1勝1敗

聖泉大学

勝点0 2敗

### <B組>

天理大学

1  $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$  0

勝点3 1勝1敗

立命館大学

勝点0 2敗

### <B組>

ソニーHC  
BRAVIA Ladies

2  $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$  0

勝点6 2勝

南都銀行  
SHOOTING STARS

勝点3 1勝1敗

< A組 >

コカ・コーラウエスト レッドスパークス 勝点 6 2勝	4	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	グラクソ・スミスクライン Orange United 勝点 3 1勝1敗
7	PC	1		1
13	シュート	1		

得点	コカ → 8分新井、10分三橋、45分李、47分李
戦評	<p>コカのセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げる。先にチャンスを得たのはコカ。8分にFB#6大田がセンターライン付近からの強烈なヒットパス。それをFW#9新井がサークル内で受け、狙いすましたプッシュシュートでゴール左上に決め先制。勢いにのるコカは10分にもFB#8小野のパスを受けたFW#7三橋がドリブルでサークル内に突入し、リバースシュートをゴール左下に決め、2-0とする。その後は一進一退の展開を続けるが両チームとも得点に結びつけることが出来ず、2-0のコカリードで前半を折り返す。</p> <p>コカは後半も攻撃の手をゆるめず、GSK陣内でゲームを組み立てる。コカは46分にPSを獲得。FB#18李が落ちついてゴール右下に決め3-0と突き放す。直後の47分にもPCからFB#18李がスウィープシュートをゴール右下に決めダメ押し。その後GSKは反撃をみせるも得点に至らず、コカが4-0で勝利し勝点6とした。</p>

テクニカルオフィサー	我妻活美	アンパイア	相馬知恵子
ジャッジ	荻谷和代		山田恵美

< A組 >

山梨学院大学 勝点 3 1勝1敗	5	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学 勝点 0 2敗
10	PC	0		0
19	シュート	2		

得点	山梨 → 27分浦島、34分浦島、39分西永、58分OG、65分田中
戦評	<p>聖泉のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから山梨は聖泉陣内で優位にゲームを進める。6分、山梨はPCを獲得するが得点することが出来ない。山梨は16分にPSを獲得するが聖泉GK#1長友の好セーブにより決定的なチャンスを阻まれる。粘る聖泉だが、27分に山梨FW#9浦島がヒットシュートでゴール左下に先制を許す。34分にも山梨はFB#4近藤のパスを受けた、またもFW#9浦島が、ダイレクトで決め、2-0とリードし、前半を折り返す。</p> <p>山梨は後半も猛攻を緩めず、39分にPCを獲得、シュートがこぼれ球をMF#15西永が押し込み3-0と突き放す。対する聖泉もカウンター反撃を試みるものの、山梨の堅い守備に阻まれる。山梨ペースに試合が進み、58分には聖泉のOG、65分にはPSから加点し、結局5-0で山梨が勝利し、勝点3を獲得した。</p>

テクニカルオフィサー	我妻活美	アンパイア	山口千恵美
ジャッジ	荻谷和代		藤村利道

< B組 >

天理大学	1	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	立命館大学
勝点 3 1勝1敗				勝点 0 2敗
3		PC	5	
5		シュート	11	

得点	天理→ 23分高木
戦評	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げる。立命は5分にPCを獲得。しかし、天理DF陣が阻む。その後、両チームとも走力あふれる攻防を展開する。試合が動いたのは23分。天理はPCからMF#5高木がヒットシュートをゴール右下に決め先制する。このまま前半は天理が1点リードで折り返す。</p> <p>後半、追いかける立命は後半10・11分にPCを獲得するが得点することが出来ない。立命はその後も天理陣内で必死の攻撃を仕掛けるが、天理はSW牛尾らが粘り強い守備を発揮し、立命のチャンスをつぶす。それでもあきらめない立命は、終了間際にPCを取得。決めれば同点のところ、デンジャラスの反則で終了。1-0で天理が勝利した。</p>

テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄充世 中野典子	アンパイア	安岡裕美子 児玉茂樹
--------------------	--------------	-------	---------------

< B組 >

ソニーHC BRAVIA Ladies	2	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	南都銀行 SHOOTING STARS
勝点 6 2勝				勝点 3 1勝1敗
5		PC	2	
13		シュート	4	

得点	ソニー→ 59分永井友、69分OG
戦評	<p>南都のセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも激しい猛攻を仕掛け、先にチャンスを得たのは南都。2分にPCを獲得するが得点に繋げることが出来ない。対するソニーも南都陣内で反撃をみせるが、得点することが出来ない。その後、両チームともにPCを獲得するがGKの好セーブによりゴールを奪うことが出来ず0-0のまま前半を折り返す。</p> <p>後半ソニーは、立ち上がりから勝負に出る。前線から激しくプレスを仕掛け南都にプレッシャーを与える。しかし、南都はあわてることなくDFを固め、ソニーの攻撃を阻む。しかし、執拗な攻撃の中から、58分にソニーがPCを獲得。FB#4坂井のフリックシュートを南都GK#12金剛がセーブするが、こぼれたボールをFW#19永井友が押し込み先制。69分にはソニーFW#15小沢がサークル内に打ち込んだボールを南都DFが痛恨のレシーブミスでOG。ソニーは一気に勝利を手繰り寄せると、南都反撃を許さず、2-0で勝利。ソニーは勝点6とした。</p>

テクニカルオフィサー ジャッジ	今庄充世 中野典子	アンパイア	根岸郁美 壽山由樹
--------------------	--------------	-------	--------------

※11月24日の試合日程は以下の通りです。

第74回全日本女子ホッケー選手権大会

第3日 : 11 月 24 日 ( 日 ) 会場 : 親里ホッケー場

【予選リーグ】

B組

9:30 立命館大 vs 南都銀行

B組

12:50 ソニーHC vs 天理大学

A組

11:10 G S K vs 聖泉大学

A組

14:30 山梨学院 vs コカ・コーラW

以 上